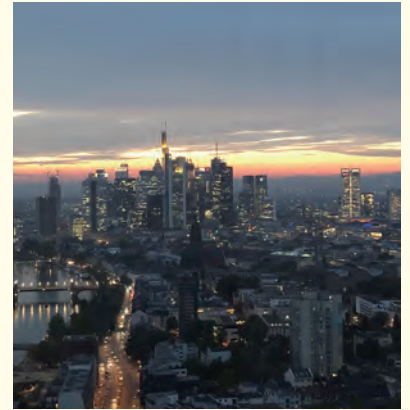




from Frankfurt



フランクフルトの高層ビル群

変化と伝統のフランクフルト

ドイツには中規模の都市が点在しているという特徴があります。統計のとり方にもよりますが、もっとも大きな都市はベルリンで人口約360万人、続くハンブルクが約180万人、以下ミュンヘン、ケルンとなりますが、その差はさほど大きくありません。ちなみに欧州中央銀行があるフランクフルトは、5位の約75万人です。ドイツの総人口はおよそ8,200万人ですから、最大都市のベルリンといえども全体のわずか4%で、人口の約3分の1が東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)に集中する日本との違いに驚かされます。また各都市が歴史、文化、経済等できわめてユニークな特色を持っていることもドイツの大きな魅力です。

文豪ゲーテ(注1)が生まれ音楽家テレマン(注2)が活躍したフランクフルトは、古くから金融の街として知られてきました。1998年にこの地で共通通

貨ユーロとユーロ圏の金融政策運営を任務として設立された欧州中央銀行は、その後の金融危機を機に役割が一段と拡大され、2014年にはユーロ圏の銀行監督を一元的に担う機能も加えられました。2016年の英国のEU離脱決定を受けて金融機関のロンドンからのシフトが広がるなか、フランクフルトはまさに欧州金融の中心地として更なる変貌を遂げようとしています。

そのフランクフルトでは今、新「旧市街」と呼ばれるエリアがちょっとした話題となっています。第二次世界大戦で大きな被害を受けた旧市街の一面を戦前の姿に復元しようとする試みが、2018年に完了しました。観光名所となっているレーマー広場から聖バルトロメウス大聖堂までのおよそ7,000㎡のエリアで、戦前の木組みの建物や細く入り組んだ小道、噴水などが忠実に再現されたのです。時を経て再びよみがえった旧市街は、これからまた新たな歴史を刻んでいくことでしょう。

(欧州中央銀行、フランクフルト)



左/欧州中央銀行本部ビル。このほか市内に2つの拠点があります。右/レーマー広場のクリスマスマーケット

注1 ゲーテ(1749-1832)：詩人、小説家、劇作家。小説『若きウェルテルの悩み』など数々の名作を生み、名声を博した。

注2 テレマン(1681-1767)：後期バロック音楽を代表する作曲家で、当時ドイツ随一の人気を誇った。

*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。